

2006年度 立命館地理学会大会

日時：2006年11月25日（土） 13時30分～17時00分

場所：立命館大学衣笠キャンパス 明学館（4階）96号教室

18th

大会テーマ：「まちづくり・地域再生を考える」

現在の日本は、グローバル経済の進展、平成の大合併、急速な少子高齢化を伴う人口減少社会の到来など政治・経済・社会の転換期を迎えています。こうした状況の中、大都市の都心部では大規模な再開発が進展し、新しいまちのあり方が模索される一方で、地方においてもバブル経済崩壊後の疲弊した地域経済や社会を再生すべく、地域性を活かしたさまざまな取り組みが展開されています。また、こうした取り組みにおいて、海外のまちづくり事例などにも現代日本を取り巻くまちづくりのヒントが隠されているものと思われます。そこで、今年度の大会では、各地で開催されているまちづくりや地域再生の試みなど、都市・村落を問わず幅広くご紹介いただきたいと思います。

・ 13:30 - 14:10 【卒業論文発表】（発表15分、質疑5分）

高木 智康（株式会社ダスキン）

「人口減少村落における移住者支援活動と移住者の定着過程－京都近郊の一集落を事例として－」

渡邊 泰崇（立命館大学大学院進学予定）

「水田基盤を構築する環境条件の地生態学的考察－新潟県五泉市大字山崎を事例に－」

・ 14:15 - 16:20 【シンポジウム】

山田 耕生（共栄大学）

「温泉地における魅力づくりと地域活性化－山形県小野川温泉を事例に－」

五十嵐 勉（佐賀大学）

「文化的景観の保存・活用制度と棚田保全－唐津市相知町蕨野の棚田での実践活動から－」

山下 博樹（鳥取大学）

「バンクーバー都市圏における郊外タウンセンターの現状－リバブルな市街地再整備の成果として－」

・ 16:20 - 17:00 【立命館地理学会総会】